

事務事業名		産業用地整備事業		会計	一般会計	実施区分	継続	
H29作成課等名		工業課	H29係等名	企業立地係	H28担当課等名	工業課		
基本計画上の位置づけ		政策 1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
		施策 11	支え、育む産業基盤づくり					
目的	対象(誰・何を)	産業用地		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	整備する			飯田市で整備した産業用地箇所数(H9以降)		30.2	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業) 飯田下伊那						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	飯田市で整備した産業用地面積(H9以降累計、平地分ha)		30.2	30.2	32.8	30.2	
	定性目標							
事業概要	飯田市がこれまで整備した産業用地は5箇所30.2ha(平地分譲面積)であり、うち分譲可能な用地は、H28年3月末現在、天龍峡エコバレー0.86haとなっているため、新たな産業用地整備を行う。							
事業内容				名称		活動指標		
28年度事業内容	1 地元説明 2 地元説明会 3 基本設計、詳細設計(造成、道路)、自然環境調査、不動産価格調査等			1 箇所数 2 開催数 3 委託数		1 1箇所 2 2回 3 5業務		
	事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
	事業費計(千円)①	4,428	45,988	8,178	37,811	28→29 繰越明許費 37,811千円		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源	4,428	45,988	8,178	37,811				
人件費計(千円)②	1,430	0	1,430	0				
正規職員所要時間	400		400					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	5,858	45,988	9,608	37,811				
事業内容・目標達成状況の振り返り	新産業用地整備については、龍江地区で進めている(仮称)龍江IC産業団地整備に向け2年目となる。自然環境調査の現地調査の実施をもとに基本計画の決定、詳細設計業務に入り、各許認可申請に向けた取り組みを進めた。							
改革改善の考え方	①問題点	分譲可能な産業用地は、天龍峡エコバレー地区の0.86haを残すのみとなっているため新たな産業用地を確保することが喫緊の課題である。						
	②改革提案	龍江地区で進めている産業団地整備のほか、産業用地として有力的な民有地、公有地の活用に向け確保に向けた戦略的な取り組みを進める。また、産業団地整備では計画に従い詳細設計を踏まえた許認可申請の手続きを進める。						